

テクノロジー×デザインで人間の未来を変える

— 神山まるごと高専の取り組み

未来の「モノづくり」を拓く場所

私たちが生きる社会は、ますますテクノロジーとデザインが交わる領域に向かっている。AIやIoT、デジタルツインなど、革新的な技術が日々進化し、多くの産業がその影響を受けている。しかし、テクノロジーだけでは人間らしさを持つ社会を築くことはできない。そこに必要なのは、「人間」を中心に考えるデザインの力である。

神山まるごと高等専門学校は、テクノロジーとデザインの融合を通じて、次世代を担う「モノをつくる力」で、「コトを起こす人」を育成することを目指している。このビジョンは、建学の理念として私たちの原動力となっており、学生一人ひとりの成長を支える大きな柱だ。

建学理念と目指す人材像

本校の建学理念の根底には、単に技術的な能力を養うだけでなく、社会に貢献し、世界をよりよくするために、自ら動き出す力を持つ人材を育てるという強い使命がある。

「Bメンタリティ(未完成を前提とした成長思考)」という考え方は、この理念の核心をなすものである。私たちは、「完成はない」「全ては成長の途上にある」という立場で教育に取り組んでいる。この考え方は、学生が失敗を恐れずにチャレンジし続けることを促し、モノづくりに取り組む中での不断の進化を大切にしている。本校では、学生たちにこのBメンタリティを体現し、試行錯誤を通じて自分たちの道を切り拓いていく力を身に付けてもらっている。

神山まるごと高等専門学校理事

寺田親弘
ちかひろ



目指す人材像は、テクノロジーとデザインの両方を理解し、それらを結び付ける力を持つ人である。単にプログラミングを学ぶだけでなく、製品のデザインや社会的背景を理解し、よりよい社会をつくるために自分の力を発揮できる人材を育成している。学生には、科学的な知識と技術に基づいた問題解決能力だけでなく、創造性や社会的責任感を育むカリキュラムを提供している。

カリキュラムの特徴

本校のカリキュラムは、テクノロジーとデザインの統合的に学ぶことを可能にする独自の設計がなされている。学生たちは、学科ごとに専門的な知識を深めると同時に、他の学科の学生と協働し、実際の社会課題を解決するプロジェクト型学習を通じて、幅広いスキル

ルを獲得する。

(1) テクノロジーとデザインの融合

カリキュラムは、テクノロジー、デザイン、起業家精神という三つの柱を軸に構築されている。学生たちは、基礎的な理系科目(プログラミング、機械工学、データサイエンスなど)を学びながら、同時にデザイン思考やユーザー中心設計、エシカルデザインといった視点から問題解決のアプローチを学ぶ。このような統合的なアプローチによって、技術だけでなく、それが社会にどのように影響を与えるかを考える力が育まれる。

(2) プロジェクト型学習と産業界との連携

本校では、産業界との連携を強化し、実社会に直結した学びを提供している。学生たちは、企業との共同プロジェクトを通じて、実

際の課題に取り組む。例えば、スカラシップパートナー企業とのプロジェクト活動では、企業のビジネスモデルや社会課題を学びながら、実際の製品やサービスの開発に参加する。このような経験を通じて、学生は単なる技術者にとどまらず、社会の中で変革を起こす起業家精神を養う。

(3) 学生主導の活動と自主性

本校では、学生たちが自らの意思で新しい活動を始めることが奨励される。例えば、学生が自主的に立ち上げたプロジェクトやクラブ活動は、学校内外の支援を受けながら実行に移され、学生がリーダーシップを発揮し、自らのアイデアを形にする場として機能している。このような体験を通じて、学生たちは実践的な問題解決能力を身に付け、社会的な影響を与える力を育てる。

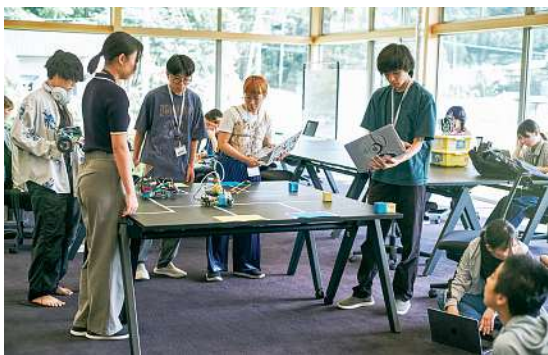
産業界への期待

テクノロジーとデザインが融合する現代の社会では、次世代のリーダーには広範なスキルと深い社会的洞察が求められる。本校では、産業界の最前線で活躍する企業と連携し、実際の社会課題に取り組み教育を行っている。これにより、学生たちは即戦力としてのスキ

未来の「モノづくり」を担う人材を育てる場所

本校は、ただの学び舎にとどまらず、学生たちが未来を形づくるための実践的なフィールドである。テクノロジーとデザインを融合させた教育を通じて、学生たちは自分の力を信じ、次の社会を動かす力を養っている。このような学びを通じて、私たちの学校は、未来の「モノづくり」を担う人材を育て、社会をより良くするための力を持った若者たちを世に送り出している。

この先、学生たちが成し遂げるであろう挑戦に対して、大きな期待とともに見守っていただければと思う。そして、産業界の皆さまとのさらなる協力を通じて、より多くの価値を創造し、次世代のイノベーションを生み出していく所存である。



授業風景



人や社会とつながるアウトプットのための校舎